



土崎みなと歴史伝承館

伝承館だより

第3号



土崎港曳山会と見返しコンクール受賞者のみなさん

前列左から、優秀賞 福井 充さん 最優秀賞 石田 涼さん 優秀賞 小野 尚幸さん(代理)

今年のお祭りは、新型コロナウイルス感染防止のため中止となりましたが、「土崎港曳山会」では、例年であれば町内会単位で曳山に飾られていた見返しを今年は個人を対象として募集しコンクールを実施。応募作品127点の中から入賞となった30点を7月15日より伝承館に展示しました。そのうち最優秀作品1点、優秀作品2点の表彰式を同日行いました。見返しは12月28日まで展示予定。



先人の心意気と情熱に学び新しい一歩へ



新型コロナウイルス禍の影響で、土崎神明社祭の曳山行事も中止のやむなきに至りました。関係各位、また多くの方々に落胆と失望の念をいだかせ、誠にくやしく残念でなりません。

その昔、佐竹公が土崎に着任二年後久保田へ築城移転し、空洞同然となった湊街を町民が一丸となり再構築にあたったと言われています。湊そのものの機能を中心とした経済再開発と街づくりに意を注ぎ、その結果街全体が以前よりも活気を取り戻し、城下久保田をしのぐと歴史書に記されています。その努力の精神的な支えとなったのは、神明社の創建と後の曳山奉納でありました。

その湊衆の歩みが「土崎みなと歴史伝承館」に展示されています。映像と音声により歩みの詳細について学び取ることができます。是非足を運ばれ先人の心意気と情熱の姿を見つめて欲しいと思います。

「祭り」は「祀る」にその本質があり、街の発展と町民の生活の安寧を神様に祈願し、感謝の念を捧げ、神と共にその喜びを分かち合うことに意義があります。

先人が強い絆と団結心で幾多の困難を乗り越えてきた情熱と努力に思いをいたし、現行の祭りの在り方で改善の余地のある部分は改善し、後世に正しく伝統を引き継いでいきたいものです。来年に向けて英気を養いこれまで以上に、安全で楽しくみんなに喜ばれ愛される魅力ある曳山祭りにすべく、「ジョヤサー（徐夜叉）、ジョヤサー」の掛け声のもと力強い一歩を踏み出したいものです。

土崎神明社奉賛会 会長 小林 一彦

伝承館に望むもの



オープン2年半を迎え、入場者数はコロナ禍で減少してはいるものの、予想を上回る来場者数で大変喜ばしい事です。

今年度は11.5mの展示曳山の紫外線で色あせた部分を作り替える予定だそうです。その他の展示物で付け足していただきたいものをあげてみます。①江戸時代からの土崎港の変遷、特に今も地名に残っている外旭川水口、これは雄物川の水を田んぼに取り入れる口、飯島穀丁つまり米の積出港、雄物川が今より山側を通り飯島に流れ出ていることが分かる。これを現在の地図に重ねる。②秋田港の昭和の時代からの変遷、大きく変わった秋田港の変化が今の展示よりわかりやすくなる。③昭和21年曳山が再開された時の写真が池田元氏の自費出版物の中にある13枚。④2年前に解体された穀保町にあった最後の湊御蔵の市が撮影したビデオ、建物の測量図。⑤被爆展示の中に現在までに判明している正確な被爆地点図などが展示物として必要に思えます。

街一丸となって土崎をもっと多くの人に知ってもらい、盛り上げていきたいと思います。

秋田みなと振興会 会長 加賀谷 毅

伝承館 令和2年度上半期 リポート

新型コロナウイルスの予期せぬ蔓延により伝承館は初の長期休館に追い込まれ、その後再開したものの感染予防と来館者の安全を考慮し、3密を避けるよう事業内容を限定せざるを得ませんでした。今回はそのような状況の中で行われました上半期の催し物を紹介いたします。

■うちわ、ポスター、シールの配布

土崎地区がここを一つにし、少しでも早く賑わいが戻りますよう「コロナ退散祈願」うちわ・ポスター・シールを作成し、土崎神明社にお祓いをしていただきました。土崎地区四商店会や金融機関などのご協力を得て、お店へ貼ったり、お客様へ配布していただきました。



■ナガサキ原爆・土崎空襲資料展

ナガサキ原爆・土崎空襲の悲劇を二度と繰り返さぬよう、原爆についての資料や土崎空襲に関する資料を展示しました。
(6月26日～7月12日)



■来館の記念撮影用に半纏を用意しました

大人用5枚、子供用3枚準備しました。来館者の記念撮影用に貸し出しております。



■ガンギエイの乾燥標本を展示

男鹿水族館GAOのご協力により、かすべ煮のレシピや乾燥標本を展示しました。
(7月2日～9月6日)



■小学生見返しコンクール

土崎地区の小学校（土崎小・土崎南小・港北小）による見返しを展示しました。
(7月15日～31日)



■日本最後の空襲「土崎空襲展」証言会&上映会

ご遺族から寄贈された戦争時の遺品や暮らしのわかる写真、絵本、まんが等を展示(8月2日～30日)。また、空襲の様子を伝える「証言会&上映会」を開催しました。(8月23日)



■倉田よしみさん作の漫画の原画の展示

漫画家・倉田よしみさんが描き下ろした漫画の原画を展示しております。(8月29日～)



■地域の守り神コンテスト作品展示

新型コロナウイルス感染の終息を願い、地域の保育園児のみなさんがデザインした守り神を展示しました。(9月6日～27日)



毎週日曜日に実施しておりました港ばやしの演奏と踊りの披露は、新型コロナウイルス感染予防と来館者の安全を考慮し、来年3月末まで休止します。

■秋田市土崎みなと歴史伝承館 利用案内

- ・開館時間：9:00～17:00 休館日：火曜日（休日の場合は翌日）、年末年始（12/29-1/3）
入館料：無料
 - ・貸室の一般利用について：9:00～21:00 ※休館日は利用不可 利用料：無料
 - <利用回数等> 1日1回あたり1室4時間を上限に、4回/月まで利用可能（ただし、利用当月の20日以降に空きがあれば、追加利用ができる）
 - <利用条件> 地域の歴史および文化を通じた人づくり・街づくり・にぎわいづくり等に関する利用（営利目的での利用不可）
 - <貸室> 企画展示室、学習室1・2（通しでの利用可能）、伝承室、階段教室、資料調査室
 - <予約> 利用日の1ヶ月前から3日前まで
- ～ご利用希望の場合やお問い合わせは、当館窓口またはお電話にて（TEL. 838-4244）～

令和2年10月発行 秋田市土崎みなと歴史伝承館 指定管理者：土崎みなと街づくり協議会
〒011-0945 秋田市土崎港西三丁目10-27 TEL. 018-838-4244 HP: <https://tuchizaki.com/>

あとがき

コロナ禍となって、あの祭りこの祭りが軒並み中止となり、寂しい上半期であった。中止となった分、生活に余裕ができたか？いや、やっぱり忙しくてもいい、祭りは絶対なくてはならない。来年は是非とも祭りがありますように。八百万の神に願掛けを。